

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）事後評価書

平成28年3月

計画の名称	泉北環境整備施設組合における水の安全・安心と良好な水環境の実現（防災・安全）																																											
計画の期間	平成22年度～平成25年度（4年間）				交付対象		泉北環境整備施設組合																																					
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 雨天時、公共用水域の汚濁の原因となっている未処理放流水について、合流式下水道緊急改善事業を実施することにより、公共用水域の水環境の改善を図る。 早急な老朽化対策が求められている雨水ポンプ用エンジン等について、改築更新事業を実施することにより、日常生活に重大な影響を及ぼす機能の停止を未然に防止するとともに、コストの最小化を図る。 早急な老朽化対策が求められている下水道管渠について、管更生等による長寿命化対策を実施することにより、重大な事故を未然に防止するとともにライフサイクルコストの最小化を図る。 早急な老朽化対策が求められている下水道人孔蓋について、取替を実施することにより、重大な事故を未然に防止するとともに、安全性の向上を図る。 耐震化対策が求められている処理場施設について、耐震化事業を実施することにより、人命の安全性を確保するとともに、重要な下水道施設の耐震化を図る。 																																											
計画の成果目標（定量的指標）	<ol style="list-style-type: none"> 汚濁負荷量の削減：合流改善面積において、分流式下水道と置き換えた場合に排出する汚濁負荷量と同程度以下（いわゆる分流式下水道並み）の水質達成のため、BOD放流負荷量を削減する。 老朽化対策：施設の機能停止を未然に防止するため、老朽化が著しい雨水ポンプ用エンジン及び沈砂地設備を更新する。 長寿命化対策：重大な事故を未然に防止するとともにライフサイクルコストの最小化を図るため、老朽化が著しい下水道管渠を管更生等により改築する。 老朽化対策：重大な事故を未然に防止するため、老朽化が著しい下水道人孔蓋の取替を行う。 耐震化対策：重要な下水道施設の耐震化を図るため、早急な耐震化が必要とされている管理棟の耐震化工事を行う。 																																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H22当初)</th> <th>H24当初</th> <th>(H25末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①分流式下水道並のBOD排出量を達成できた面積の割合 ＝分流並BOD排出量達成面積（ha）／合流改善対策計画対象面積（ha）</td> <td>265ha</td> <td>/</td> <td>265ha</td> <td rowspan="3">最終目標値（H24末）</td> </tr> <tr> <td>②早急な更新が求められる改築更新事業の対象機器のうち、更新工事が完了した機器の割合 ＝更新工事完了機器台数（台）／更新工事対象機器台数（台）</td> <td>7台</td> <td>/</td> <td>7台</td> </tr> <tr> <td>③管更生等の早急な対策が求められる管渠施設の改築事業の対象管渠のうち、対策が完了した管渠の割合 ＝更新工事完了延長（m）／更新工事対象延長（m）</td> <td>1,848m</td> <td>/</td> <td>1,848m</td> </tr> <tr> <td>④早急な取替が求められる人孔蓋の改築事業の対象人孔蓋のうち、取替が完了した人孔蓋の割合 ＝更新工事完了個数（個）／更新工事対象個数（個）</td> <td>177個</td> <td>/</td> <td>177個</td> <td rowspan="2">最終目標値（H24末）</td> </tr> <tr> <td>⑤早急な耐震化が求められる下水道施設のうち、耐震化工事が完了した下水道施設の割合 ＝耐震化工事完了棟数（棟）／耐震化工事対象棟数（棟）</td> <td>1棟</td> <td>/</td> <td>1棟</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H22当初)	H24当初	(H25末)	①分流式下水道並のBOD排出量を達成できた面積の割合 ＝分流並BOD排出量達成面積（ha）／合流改善対策計画対象面積（ha）	265ha	/	265ha	最終目標値（H24末）	②早急な更新が求められる改築更新事業の対象機器のうち、更新工事が完了した機器の割合 ＝更新工事完了機器台数（台）／更新工事対象機器台数（台）	7台	/	7台	③管更生等の早急な対策が求められる管渠施設の改築事業の対象管渠のうち、対策が完了した管渠の割合 ＝更新工事完了延長（m）／更新工事対象延長（m）	1,848m	/	1,848m	④早急な取替が求められる人孔蓋の改築事業の対象人孔蓋のうち、取替が完了した人孔蓋の割合 ＝更新工事完了個数（個）／更新工事対象個数（個）	177個	/	177個	最終目標値（H24末）	⑤早急な耐震化が求められる下水道施設のうち、耐震化工事が完了した下水道施設の割合 ＝耐震化工事完了棟数（棟）／耐震化工事対象棟数（棟）	1棟	/	1棟
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																								
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																									
	(H22当初)	H24当初	(H25末)																																									
①分流式下水道並のBOD排出量を達成できた面積の割合 ＝分流並BOD排出量達成面積（ha）／合流改善対策計画対象面積（ha）	265ha	/	265ha	最終目標値（H24末）																																								
②早急な更新が求められる改築更新事業の対象機器のうち、更新工事が完了した機器の割合 ＝更新工事完了機器台数（台）／更新工事対象機器台数（台）	7台	/	7台																																									
③管更生等の早急な対策が求められる管渠施設の改築事業の対象管渠のうち、対策が完了した管渠の割合 ＝更新工事完了延長（m）／更新工事対象延長（m）	1,848m	/	1,848m																																									
④早急な取替が求められる人孔蓋の改築事業の対象人孔蓋のうち、取替が完了した人孔蓋の割合 ＝更新工事完了個数（個）／更新工事対象個数（個）	177個	/	177個	最終目標値（H24末）																																								
⑤早急な耐震化が求められる下水道施設のうち、耐震化工事が完了した下水道施設の割合 ＝耐震化工事完了棟数（棟）／耐震化工事対象棟数（棟）	1棟	/	1棟																																									
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,538.47	百万円	A	2,405.68	百万円	B		百万円	C	132.79	百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	5.2%																														

事後評価（中間評価）

C	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> 泉北環境整備施設組合公共下水道事業推進委員会において、学識経験者等の第三者の意見を求め実施 	<ul style="list-style-type: none"> 中間評価：中間年度完了後（平成24年8月8日） 事後評価：事業完了後（平成28年2月23日）
	公表の方法
	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業														上段 (計画)		下段 (実施)		全体事業費 (百万円)	備考
A 下水道事業				直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H22	H23	H24	H25	H26				
A-1	下水道	一般	泉北組合	直接	-	処理場	新設・改造	高石処理場 合流式下水道緊急改善事業	高速ろ過施設、雨水滞水池 ↓ 高速ろ過施設 (0.421m³/s) 雨水耐水池 (13,700m³) 等	泉北環境整備施設組合						1,800.00 ↓ 1,794.50	合流改善		
A-2	下水道	一般	泉北組合	直接	-	処理場	改築	高石処理場 改築更新事業	雨水ポンプ用エンジン、沈砂池設備 ↓ 雨水ポンプ用エンジン (2機) 沈砂・しき掻揚機 (5機)	泉北環境整備施設組合						459.00 ↓ 458.40			
A-3	下水道	一般	泉北組合	直接	-	汚水	改築	管渠施設長寿命化事業	調査、管更生等 (φ350・300 L=116.2m) ↓ 管更生工 (φ300 L=14.8m) 布設替工 (φ350 L=94.04m)	泉北環境整備施設組合						17.00 ↓ 15.28	長寿命化		
A-4	下水道	一般	泉北組合	直接	-	汚水	改築	人孔蓋改築事業	人孔蓋取替工 (16個) ↓ 人孔蓋取替工 (16個)	泉北環境整備施設組合						3.00 ↓ 2.80			
A-5	下水道	一般	泉北組合	直接	-	処理場	改築	高石処理場 耐震化事業	処理場管理棟耐震工 (1棟) ↓ 処理場管理棟耐震工 (1棟)	泉北環境整備施設組合						135.00 ↓ 134.70			
小 計																2,414.00 ↓ 2,405.68			
B 下水道事業														上段 (計画)		下段 (実施)		全体事業費 (百万円)	備考
B 下水道事業				直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H22	H23	H24	H25	H26				
小 計																			
C 効果促進事業														上段 (計画)		下段 (実施)		全体事業費 (百万円)	備考
C 効果促進事業				直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H22	H23	H24	H25	H26				
C-1	下水道	一般	泉北組合	直接	-	汚水	改築	管渠施設長寿命化事業(枝線部)	管更生等 (φ250・200 L=1697.9m) ↓ 管更生工 (φ250 L=1319.01m) 布設替工 (φ250 L=199.88m) (φ200 L=220.66m)	泉北環境整備施設組合						117.00 ↓ 103.57	長寿命化		
C-2	下水道	一般	泉北組合	直接	-	汚水	改築	人孔蓋改築事業(枝線部)	人孔蓋取替工 (161個) ↓ 人孔蓋取替工 (161個)	泉北環境整備施設組合						30.00 ↓ 29.22			
小 計																147.00 ↓ 132.79			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考								
C-1	基幹事業 (A-3) で行う管渠施設と接続された管渠施設 (枝線部) の改築を行うことで、日常生活に重大な影響を及ぼす機能の停止を未然に防止する。																		
C-2	基幹事業 (A-4) で行う人孔蓋の改築を行う管渠施設と接続された管渠施設 (枝線部) の人孔蓋の改築を行うことで、重大な事故を未然に防止するとともに安全性の向上を図る。																		

2. 事業効果の発現状況及び目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交対象事業の発現状況	①合流改善事業：BOD放流負荷量を削減することで分流式下水道並みの水質が達成でき、公共用水域の水環境の改善を図ることができた。				
	※合流式下水道緊急改善事業事後評価				
	改善項目	対策前	目標値	発現値	削減率
	BOD放流負荷量	78.5t/年	45.5t/年	37.4t/年	52.4%
	雨天時BOD放流負荷量	70.8t/年	37.8t/年	36.1t/年	49.0%
	未処理下水の放流回数	69回	34回	24回	65.2%
放流水質基準		40mg/L以下	34.1mg/L以下		
整備効果 放流負荷量の削減 (分流並水質の達成)					
未処理放流回数の半減					
放流水質基準への対応					
②改築更新事業：老朽化が著しい雨水ポンプ用エンジン及び沈砂地設備を更新し、日常生活に重大な影響を及ぼす機能の停止を未然に防止するとともに、コストの最小化を図ることができた。					
③管渠施設長寿命化事業：老朽化が著しい下水道管渠を改築し、重大な事故を未然に防止するとともにライフサイクルコストの最小化を図ることができた。					
④人孔蓋改築事業：老朽化が著しい下水道人孔蓋の取替を行い、重大な事故を未然に防止するとともに、安全性の向上を図ることができた。					
⑤耐震化事業：管理棟の耐震化工事を行い、人命の安全性を確保するとともに、重要な下水道施設の耐震化を図ることができた。					

II 定量的指標の達成状況	指 標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	指標①（分流式下水道並のBOD排出量を達成できた面積の割合）	100%	100%	
	指標②（早急な更新が求められる改築更新事業の対象機器のうち、更新工事が完了した機器の割合）	100%	100%	
	指標③（管更生等の早急な対策が求められる管渠施設の改築事業の対象管渠のうち、対策が完了した管渠の割合）	100%	100%	
	指標④（早急な取替が求められる人孔蓋の改築事業の対象人孔蓋のうち、取替が完了した人孔蓋の割合）	100%	100%	
	指標⑤（早急な耐震化が求められる下水道施設のうち、耐震化工事が完了した下水道施設の割合）	100%	100%	

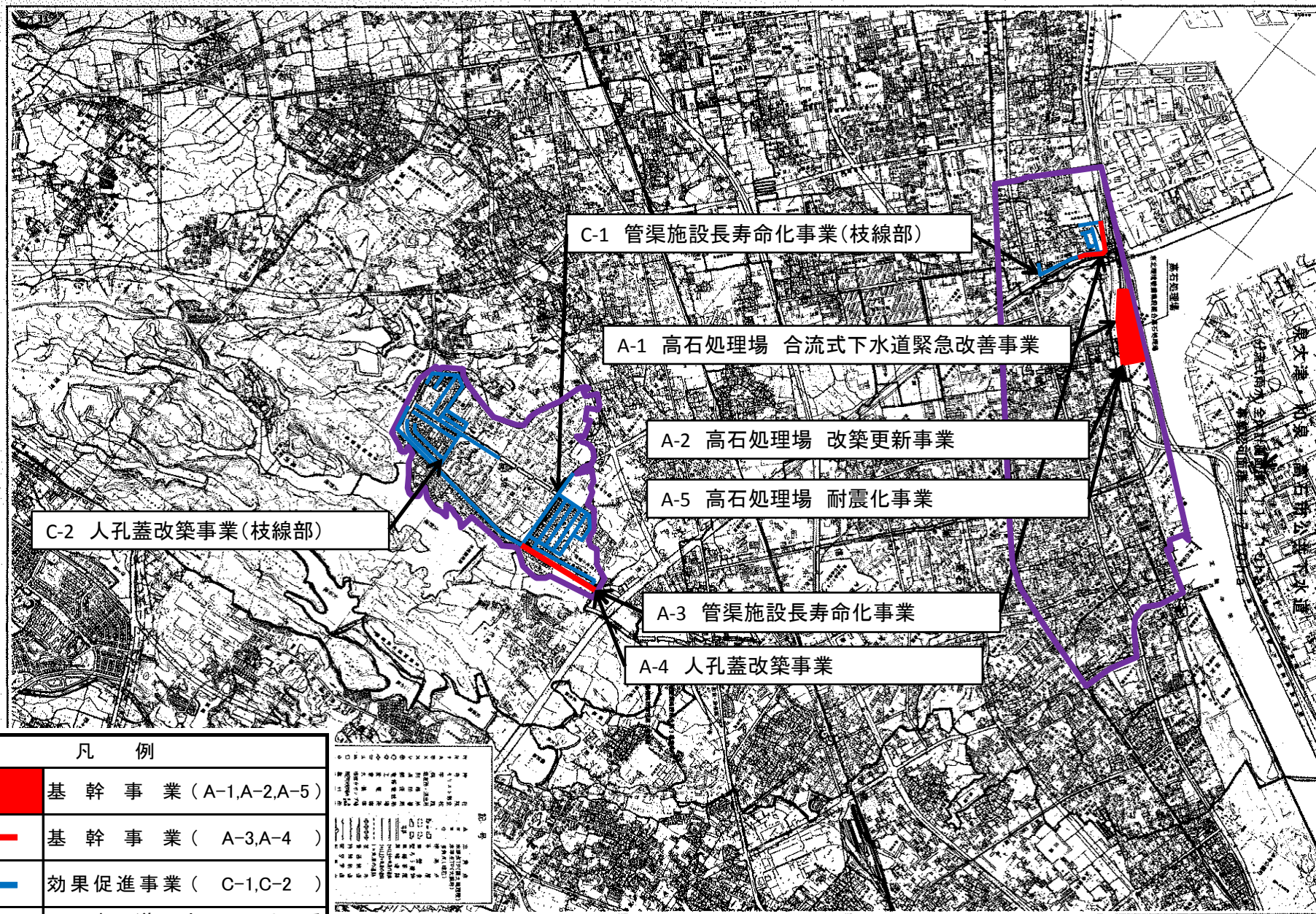
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	
----------------------------	--

3. 特記事項（今後の方針等）

・本組合の下水道事業については、平成26年4月1日付けをもって、組合市（泉大津市、和泉市、高石市）にそれぞれ移管されていることから、今後は、整備された各施設の有効利用と適正な維持管理に努める。

(参考様式3) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

計画の名称	泉北環境整備施設組合における水の安全・安心と良好な水環境の実現 (防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度 (4年間)	交付対象	泉北環境整備施設組合



泉大津・和泉・高石公共下水道一般平面図

凡 例	
	基幹事業 (A-1,A-2,A-5)
	基幹事業 (A-3,A-4)
	効果促進事業 (C-1,C-2)
	下水道法による事業計画区域